

A close-up photograph of a piano keyboard, showing several black and white keys. The keys are arranged in a row, with the black keys being shorter and the white keys being longer. The lighting is soft, highlighting the texture of the keys.

音楽科における 協働的な学びの実践例

実践について

対 象

第5学年

題材名

「日本の音楽」

目 標

旋律や音色、拍から、日本の民謡や子もり歌のよさや面白さを感じ取り、音楽の特徴を生かして歌ったり、味わいながら聴いたりすることができるようになる。

実践について ～学習の流れ～

時数	学習内容	教材
1 時間目	日本の旋律のよさや特徴を生かす歌い方を工夫する。	(共)子もり歌
2 時間目	日本の旋律のよさや特徴を感じ取って聴く。	会津磐梯山 音戸の舟歌
3 時間目	日本の旋律のよさや特徴を感じ取って聴く。	木曾節、 金毘羅船舟など
4・5 時間目	旋律の感じを生かした表現活動を通して、日本の民謡のよさを味わう。	こきりこ節 ・谷茶前

実践について ～児童の実態～

- ・ 歌うのも、聴くのも好き
- ・ 大合唱やダンス



- ・ 「よく分からない」「…」



- ・ 「きいたことある」「面白い」



実践について ～アイテム～



○曲が生まれた背景

漁師の舟こぎ歌として生まれた

○歌い方

地声、節回し（こぶし）、ゆらしている、
はやし言葉（かけ声）

○楽器

三味線、太鼓

○せんりつ



いざよし
磯節〈茨城県〉